資料６

施策に関連する主な事業の説明資料

# 施策１

## 【総合計画】

「公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり」

## 【総合戦略】

・１-１「公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出」

| 事 業 名 | 新庁舎整備事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 耐震性のない役場庁舎を新築、分散している役場機能の集約化と効率化を図るため、果樹公園敷地内に新庁舎を整備する。 |
| Ｒ７実績 | ・令和６年度に神奈川県より果樹公園敷地を取得し、ラディアン周辺行政機能等集約事業における基本設計をベースに実施設計を実施した。 |
| Ｒ７課題 | ・実施設計を実施したが、建築工事などの着手に必要な各種法令手続きや工事着工後に発生する問題などの課題は多数発生する見込みである。 |
| そ の 他 | ・建設完成予定時期を令和９年度末から令和 10 年度末に変更。 |

| 事 業 名 | 生涯学習センター管理運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 施策５で記載 |
| Ｒ７実績 | |
| Ｒ７課題 | |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 図書館運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 施策５で記載 |
| Ｒ７実績 | |
| Ｒ７課題 | |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 消防庁舎維持管理経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 消防庁舎の環境を整備し、作業能率の向上を図る |
| Ｒ７実績 | ・通常業務のほかに、消防庁舎大規模改修工事の進捗状況によって職場環境が変化する中、職員の衛生管理や事故防止の対策を図った。 |
| Ｒ７課題 | ・改修工事完了に伴う職場環境の変化に伴う円滑な対応と、適切な施設管理方法を検討する必要がある。 |
| そ の 他 | ・令和８年２月 28 日（土）大規模改修工事完了。 |

| 事 業 名 | 保健センター管理運営経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 保健センターの適切な施設運営と管理を実施する。 |
| R 7 実績 | ・施設の適切な維持管理を実施した。老朽化に伴う、故障、整備不良等について、来庁者からの苦情はない。 |
| R 7 課題 | ・新庁舎完成までにおける施設修繕について、適切に実施していく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | デジタル推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | **施策６で記載** |
| R 7 実績 | |
| R 7 課題 | |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 東大果樹園跡地活用事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 東京大学果樹園跡地の有効活用のため、町民主体の管理運営組織による管理を行うとともに、みらいはらっぱ事業者との連携を図る。 |
| R 7 実績 | ・東大果樹園跡地を活用したイベントは年々増えてきており、大人や子どもが楽しめる居場所作りに寄与している。 |
| R 7 課題 | ・各団体の既得権の主張が顕著化してきており、協議会事務局の体制も不安定な状態であることを鑑みるに、将来のあり方を具体的に検討する時期にきている。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 財産管理経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 町有財産の適切かつ効果的な管理を行う。 |
| R 7 実績 | ・町内に点在する町有地について、草木の剪定等の管理を実施した。 |
| R 7 課題 | ・町有地の草木の剪定等について、近隣住民からの苦情や要望に対する迅速な対応が求められることから、継続的に実施していく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 行政改革推進事業 |
| --- | --- |
| 事業概要 | 第６次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進及び、進行管理を行う。また、次期行政改革大綱・推進計画の策定に向け準備を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・第６次二宮町行政改革推進計画に位置付ける KPI「取り組み事項 10　広域連携や産官学連携の推進」に設定している連携事業数について見直しを実施した。具体的には、これまで包括連携協定を締結した団体との事業に限定していたが、実情に即した数値とするため、全ての連携事業を対象とした。 |
| Ｒ７課題 | ・第６次二宮町行政改革推進計画に基づき事業を進める必要がある。 |
| そ の 他 | |

## 施策２

【総合計画】

「子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり」

【総合戦略】

- ２-２「特色ある教育活動の推進」
- ３-１「妊娠から子育てまでの切れ目のない支援」
- ３-２「仕事と子育ての両立支援」

| 事 業 名 | 子育て支援対策事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 子ども・子育て会議により策定したこども計画の進捗状況の把握などを行う。また、子育て支援に関する事業を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・令和７年 11 月３日にこどもの権利についての人権講演会とパネルディスカッションを開催し、広く理解促進を図った。<br>・こどもの権利条例を策定する中で、こどもたちの意見を条例に反映するためのこども会議を２回開催した。<br>・１回目のこども会議においては、こども家庭庁の支援制度を活用し適切な運営を行うとともに、並行して町民ファシリテーターを養成するための講座を実施した。<br>・２回目の会議においては、養成講座を受講した町民ファシリテーターによる運営と、専門家による運営支援により適正に開催した。 |
| Ｒ７課題 | ・こども計画の適正な進捗把握に努めるとともに、こどもの権利条例策定のため、町民ファシリテーターとともにこども会議を行なう。また、こどもの権利についての周知も町民活動団体と事業を行なう。 |
| そ の 他 | ・令和７年３月「こども計画」策定 |

| 事 業 名 | こども家庭センター事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 保健師等が中心となり各種相談等（母子保健機能）を行うとともに、こども家庭支援員等が中心となって行うこども等に関する相談等（児童福祉機能）も一体的に実施する。<br>また、虐待を未然に予防するため、こども家庭センターにおいて子育て期間と並走し、妊娠、出産から育児期を通して切れ目のない支援を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・訪問や相談事業、教室等で、きめ細やかな対応ができている。<br>・こども家庭センターとして、妊娠期から継続的な関係性の構築や巡回相談等を通じた小学校との連携強化により、小学校入学後の相談が増えた。 |
| Ｒ７課題 | ・教育委員会、福祉部門、児童相談所等、他機関との連携は非常に密に図れているが、様々な背景を持つご家庭が増え、支援が長期化、複雑化していることをふまえ、さらなる連携の強化、将来を見据えた職員の知識向上に努めていく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | ＩＣＴ教育推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 新学習指導要領に対応した教育用コンピューター等の ICT 環境を整備し、効率的かつ質の高い授業展開を図る。 |
| Ｒ７実績 | ・国の「GIGA スクール構想」に基づき、１人１台端末や校内のネットワークを適切に運用した。<br>・補助金を活用して小学１,2 年生用の教育用 PC（iPad）の機器更新を行った。 |
| Ｒ７課題 | ・令和８年においても補助金を活用しながら機器更新を行う予定であるが、近年の物価高騰もあり、町への負担が大きくなる事が見込まれる。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 小中一貫教育推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 教育に関する専門的・技術的事項の研究（英語教育の推進、小中一貫教育の研究等）及び教育研修を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・小中一貫教育について、継続して小中学校の教員が共同で教科研究を実施し、9 年間を通じた授業づくりに努めている。<br>・二宮町の小中一貫教育について、町民向けに説明会を実施した。 |
| Ｒ７課題 | ・施設一体型小中一貫教育校について、教育委員とともに意見交換を行っていく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | コミュニティ・スクール運営促進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 地域とともにある学校づくりの手法のひとつとして、コミュニティ・スクールの運営を促進し、児童生徒の豊かな成長を支援する。 |
| Ｒ７実績 | ・各学校の学校運営協議会の会長、地域学校協働活動推進委員、校長が集まり、各協議会の課題の情報共有を図る情報交換会を実施している。 |
| Ｒ７課題 | ・学校運営協議会の活動内容の情報共有や、協力者の一元管理方法について課題が上がっている。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 地域学校協働活動推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | コミュニティ・スクールの枠組みを活用し、放課後子ども教室などの地域学校協働活動の推進を図る。放課後子ども教室など、学校と連携し、地域の教育力を生かした子どもの健全育成事業を実施する。 |
| R 7 実績 | ・放課後の居場所として、放課後子ども教室を町内各小学校で開催した（二宮小 11 回、一色小 14 回、山西小 15 回)。また、試行的に保護者が一緒に参加できるよう、各校休日にも開催した。 |
| R 7 課題 | ・休日開催は参加率が低く、サポーターから負担との意見もあったため、各校一律での実施は検討が必要である。<br>・二宮小学校と山西小学校については、スペースの問題から偶数学年と奇数学年とに分けて実施している。そのため、一人の児童が参加できる回数に差が生じているおり、実施方法や回数について検討が必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 子ども・子育て支援給付経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する |
| R 7 実績 | ・保育の需要が引き続き高く、年度当初においては一部園でしか対応ができない低月齢児の受け入れができず待機 1 名が生じたが、年度末においては 0 名となった。 |
| R 7 課題 | ・共働き世帯の増加で保育所の需要が高まる一方、少子化で未就学児自体は減少しており、こうした動向を踏まえて事業運営に努め、民間保育所への円滑な受け入れを継続する。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 病後児保育事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、当該児童への適切な処遇が確保される施設で一時的保育を実施する。 |
| R 7 実績 | ・未就学の病後児保育登録者数が 12 人、年間利用件数が 10 件であり、ともに前年度より減少しているものの、病後児の保育支援に一定の効果が得られた。 |
| R 7 課題 | ・共働き世帯の増加により病後児保育の需要はあるものの利用件数は年々減少しているが、事業の有益性は利用者から評価されているため、引き続き、幼稚園・保育園のチラシ配付や広報紙掲載等による周知を図る。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | こども医療費助成事業 |
|---|---|
| 事業概要 | こどもにかかる医療費の一部を助成することにより、、健全な育成を支援し、経済的負担の軽減を行うことで小児の健康の増進を図る。 |
| R 7 実績 | ・適性に医療証の随時発行、医療費の支払いを行った。 |
| R 7 課題 | ・継続して、国における制度統一と国県における補助拡充を求めていく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | ひとり親世帯関係経費 |
|---|---|
| 事業概要 | ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合に助成を行う。 |
| R 7 実績 | ・ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として 125 世帯へ医療証を交付し、助成を行った。 |
| R 7 課題 | ・就労面での制約が出やすいひとり親世帯にとって、医療費助成は経済的な支援として大きな安心感につながる事業であり、引き続き適切な制度運営に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 子育てサロン及び一時預かり運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う。また、子育てサロン及び一時預かりにより、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かる。 |
| R 7 実績 | ・孤立しがちな保育園・幼稚園入園前の乳幼児の保護者などの交流の場として、また育児等への悩みや不安を軽減するための一助として事業運営を行った。 |
| R 7 課題 | ・今後も施設や制度の周知・利用促進に努めるとともに、保育所利用者の増加に伴う未就園児の減少などを考慮し、生涯学習センターラディアンの大規模改修によるみんなの居場所の創設を含め、今後の町内２つの子育てサロンと３つの一時預かりの在り方を検討していく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 学童保育所維持管理経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 労働等により保護者が昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を与え、健全育成を図るため、町内３か所の学童保育所を運営する。 |
| R 7 実績 | ・公設民営による３つの学童と、民設民営による１つの学童について、委託・補助事業者とともに適切な運用を行い、347 人の児童に保育を提供できた。 |
| R 7 課題 | ・共働き世帯からの需要が増加しているが、将来的に少子化に伴って減少に転じることも想定し、委託事業者・民間学童保育所と連携し適切な事業運営に努め、引き続き希望者の円滑な受け入れを図る。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 育児・発達支援事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 健診や相談で、言葉などの遅れや親子関係等の課題があった親子に育児教室を実施し、育児教室後も継続して支援が必要な子どもへの療育的な視点から支援を行い、発達支援の充実を図る。<br>また、親子支援教室・幼稚園・保育園の中において、子どもの発達の助長や親および園従事者への支援も行う。 |
| R 7 実績 | ・就労している保護者が増えたことで発達支援教室への参加が難しくなってきていることを踏まえ、低年齢向けの教室開催と個別相談に重点的に取り組んだ。<br>・参加した親子の満足度は高い状況となっている。 |
| R 7 課題 | ・発達のフォローが必要な子どもや家庭が増えている一方で、保護者の就労などにより発達支援教室への参加が困難な状況となっている。<br>・発達支援教室に参加した保護者からの満足度は高いので、引き続き、低年齢児を対象とした教室の開催と就学に向けたフォロー体制構築のため、教育委員会とのさらなる連携の強化を図る。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 英語教育推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 小・中学生の日本や外国の文化等への理解を深めるとともに、英語による実践的なコミュニケーション能力を高めるため、各学校への ALT の配置及び英語教材の整備を行うとともに、英語検定受験の奨励を行う。 |
| R 7 実績 | ・小学校の英語授業において、ALT を活用しイングリッシュデイを開始したことで、児童がより英語に親しむことができた。<br>・英語検定奨励金制度を活用し、３級受験者のみならず、準２級等の上位の級に挑戦する生徒も増え、合格者も出てきている。 |
| R 7 課題 | ・引き続き英検の受験者を増やすため周知を行って行く必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 教育相談・教育支援室事業 |
| --- | --- |
| 事業概要 | 心理士、スクールソーシャルワーカー等による教育相談を行うとともに、不登校児童・生徒への支援を行う。 |
| R 7 実績 | ・スクールカウンセラーについて県雇用を含めて、各小中学校に週１回（日/単位）常駐日を設けて、児童、生徒、保護者への相談体制を整えている。 |
| R 7 課題 | ・心理検査の希望者が年々増加しており、相談件数も増えてきている。 |
| そ の 他 | |

## 施策３

【総合計画】

「気候変動対策による持続可能なまちづくり」

【総合戦略】

・１-３「豊かな環境の保全と気候変動対策の充実」

| 事 業 名 | 環境保全推進事業（環境学習、地球温暖化防止運動の推進等） |
|---|---|
| 事業概要 | 地球温暖化対策実行計画を推進するとともに、町民理解のための基盤づくりを優先的に行うための普及啓発活動を実施し、町民の地球温暖化に関する機運醸成を図る。<br>また、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー導入促進を支援する。 |
| R 7 実績 | ・５月の「エコフェスタにのみや」並びに 11 月の「ふるさとまつり」において、環境 PR ブースを設置し、普及啓発活動を実施した。<br>・非常事態宣言（令和５年度)、にのみや気候市民会議（令和６年度）までの流れを踏まえ、こども版気候市民会議を開催した。小中学生 17 名とともに、町の現状や未来の町にできる地球温暖化対策のアイデアについてまとめ、リーフレットや動画を作成し、町内小中学生を中心に幅広い方に情報発信を行った。<br>・国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、LED 照明器具買替補助金により支援を行った。 |
| R 7 課題 | ・引き続き、町民の行動を実践に繋げるための啓発の工夫を行うとともに、費用対効果を意識した事業の効率化を検討する必要がある。<br>・地球温暖化対策については、市民提案書やこども版気候市民会議からでたアイデアをもとに一部事業を実施できたため、引き続き、地球温暖化対策実行計画に基づき具体的な取り組みを検討する。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | ごみ減量化・再利用事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 二宮町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化・資源化（再利用化）を推進し、啓発事業を行う。 |
| R 7 実績 | ・一般廃棄物処理基本計画に基づく「家庭系ごみ排出抑制」の一環として、10 月の「3R 推進月間」に合わせた町広報紙への特集記事掲載を実施した他、減量化等計画書をもとに多量排出事業者 12 社への指導・ヒアリングを実施した。<br>・令和７年７月からリチウム蓄電池の回収を開始し、ごみの適正処理や二次電池の資源化につなげた。 |
| R 7 課題 | ・近年の情勢を踏まえると資源化率の増大を図ることは困難であるため、資源化の啓発を行うとともに、新たな資源化品目について検討する必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 道路維持管理経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 側溝清掃や街路樹等の維持管理委託、橋りょう長寿命化対策、通学路安全施設整備、道路修繕工事等を実施する。 |
| R 7 実績 | ・道路等のインフラは町民生活に直結していることから、日頃のパトロールや地区要望などにより、修繕が必要な場所の優先度を位置づけ維持管理を行っている。 |
| R 7 課題 | ・道路構造物の老朽化が進行している状況であるため、今後、安全面を重視した維持管理手法の確立が求められる。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 管路建設改良費 |
|---|---|
| 事業概要 | 公共下水道の普及により、公衆衛生の向上と河川等の水質保全に資する。 |
| R 7 実績 | ・汚水枝線工事を 4 箇所実施し、本管工事延長 L=579m（φ200）取付管及び公共汚水桝 19 箇所設置した。 |
| R 7 課題 | ・令和 7 年時点で事業計画区域 95.2%の整備が完了している。未普及対策は令和 7 年度概成を目標に整備を進めていたが、未利用地や私道については土地所有者の意向等により整備が行えない状態となっており、取り残される区域が生じてしまう。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 防災施設維持管理経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 防災設備及び資機材の維持管理の内容を検討しつつ、継続的な事業展開を行う。<br>また、防災行政無線（固定系・移動系）の維持、更新を随時行う。 |
| R 7 実績 | ・年間を通じて大きな機器等の故障もなく、平常時は適切に町民への情報伝達を実施できた。<br>・消防庁舎の大規模改修に伴う資機材の移設についても、問題なく実施できた。<br>・エリアメールを活用した、緊急度や重要度に合わせた多重的な情報伝達に効果があることが確認できた。 |
| R 7 課題 | ・施設の老朽化に伴う修繕料や点検に伴う点検委託料が増加しており、他自治体の事例を参考に、新たな機材への入れ替えなども検討する必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 救急救助活動経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 救急隊員の知識技術の向上を目的とした研修及び訓練の実施と、各種災害に対する救助活動マニュアル策定にもとづいた活動の平準化による消防力の向上を図る。 |
| R 7 実績 | ・救急分野：指導救命士及び救急救命士を各1名養成し、救急体制の充実を図った。また、各種研修派遣や訓練により、救急救命士及び救急隊員の質の維持向上を図った。<br>・救助分野：水難救助体制の充実強化を目的とした活動マニュアルの整備を行った。 |
| R 7 課題 | ・救急分野：業務の多様化や、職員の担当外業務に関する経験不足によるスキルギャップが生じている。<br>・救助分野：専門性が高い事案が多いため、近隣市町や関係機関との連携に苦慮する。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 美化推進事業（530 キャンペーンの実施等） |
|---|---|
| 事業概要 | 環境意識の高揚を図るため、ゴミゼロキャンペーンを実施する。また、町の中心を流れる葛川の美化を図り、住みよい環境作りを推進する。 |
| R 7 実績 | ・かながわ海岸美化財団により、二宮海岸約3㎞、幅55m を対象に、年 55 回の団体清掃（生きがい事業団）と年 12 回の機械清掃が実施され、約 16t の海岸漂着ごみが回収された。<br>・令和7年度は湘南にのみや 530 キャンペーンが荒天のため中止となった。 |
| R 7 課題 | ・台風や大雨などの天候により、年度によってごみの量が大きく変化する。<br>・海岸ごみの約7割は河川から流れ着いていると言われているため、ポイ捨てなどを未然に防止する取組みが必要である。 |
| そ の 他 | |

## 施策４

【総合計画】

「誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり」

【総合戦略】

・１-２「地域で支えあう体制の構築」

| 事 業 名 | 人権・ジェンダー平等社会推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 人権問題に対する町民の認識と理解を深めるため、啓発活動を実施するとともに、男女共同参画社会の実現を目指す。<br>また、にのみやジェンダー平等プランにもとづき、効率的･効果的な計画推進を図る。 |
| R 7 実績 | ・11 月 3 日町制施行 90 周年記念イベント人権講演会「こどもの権利」とパネルディスカッション：参加者数 60 名 |
| R 7 課題 | ・多くの町民に参加してもらえるようなテーマ・講師の選定に苦慮している。<br>・人権問題は普遍的な課題であり、継続して啓発を図ることが必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 福祉相談支援システムによる連携 |
|---|---|
| 事業概要 | 制度やサービスなどの業務分担や専門分野にとらわれず、幅広い相談内容を管理するシステムを導入し、専門的な情報を漏れなく細かく管理・連携するための包括的な相談支援体制を構築する。 |
| R 7 実績 | ・各種相談に対し、過去の相談状況や世帯状況、資格情報等の一元的な確認を行ったことで、相談者の主訴に対し多面的な対応につなげることができた。 |
| R 7 課題 | ・集積されていくデータの有効活用について、恒常的に検討する必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 地域包括支援センター運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等が連携し、高齢者が住みなれた地域で効果的な介護予防への取り組みや必要な支援が受けられるように支援を行うため、地域包括ケアシステムの推進の中核を担う地域包括支援センターを運営する。 |
| R 7 実績 | ・高齢者やその家族の総合的な相談窓口と地域包括ケアシステム推進の中核を担い、町民や関係機関から寄せられる課題や問題を把握し、必要となる事業展開や多種多様な関連機関の相互連携を促進している。 |
| R 7 課題 | ・年々増加する要支援認定者への対応として、介護事業所に対し介護予防事業の指定をするなどの対応が必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 介護予防普及啓発事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 介護予防や日常生活支援、普及啓発のために必要な事務経費等を管理する。 |
| R 7 実績 | ・介護予防のための適切な事務執行を行った。<br>・担い手確保も含め、健康づくり普及委員と介護予防ボランティアの活動を統合するための調整を行った。 |
| R 7 課題 | ・介護予防事業の普及啓発とともに、介護予防活動における担い手の負担軽減などを図り、担い手が参加しやすい環境が必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 健康づくり事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 町民の健康づくり・未病改善のため、運動教室や健康相談、保健指導、自殺対策等を実施する。 |
| R 7 実績 | ・健康講座の開催や出張未病を実施し、健康づくりへの関心を高め、生活習慣に取り入れるよう働きかけた。<br>・働く世代を対象としたナイト未病やゲートキーパー養成講座、こころの健康講座を開催した。<br>・令和７年４月から保健センターの電話を「いのちの相談窓口」として運用を開始し、相談窓口の周知及び相談を実施した。 |
| R 7 課題 | ・健康づくりや自殺対策のための普及啓発活動や、事業の開催等を通じて町民に働きかけを行っていく。<br>・「いのちの相談窓口」の周知に伴う相談件数の増加に対応する専門職のスキルアップ、関係機関との連携強化が求められる。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 防災訓練・自主防災組織育成事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 防災訓練を実施し、住民の防災意識（自助・共助の精神）の向上を図る。 |
| R 7 実績 | ・従前の課題であった夏季の総合防災訓練を 11 月に変更して実施した。また、防災への関心が高くない方への啓発として、ふるさとまつりと同時開催で体験型の防災フェアを開催し、多くの来場者を得た。<br>・地区ごとの自主防災訓練を 16 回（合同開催、午前午後開催は 1 回として計上）開催し、地域特性に応じた啓発ができた。 |
| R 7 課題 | ・様々な世帯のうち、特に事前の備えが必要な高齢者や障がい者、幼い子を持つ世帯への啓発を進める必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 町民活動推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 町民活動推進委員会を組織し町民活動推進補助金による支援を行うことで町民活動の推進や、地区間の情報共有及び地域の自主的な活動や運営の支援による住民同士の交流促進を図る。 |
| R 7 実績 | ・スタート支援：1 団体、ステップアップ支援：3 団体　計 4 団体に補助金を交付した。<br>・地区長連絡協議会役員会、連絡会議を各年 5 回開催、県内視察研修を 1 回、近隣自治会の事例紹介の講演を 1 回実施し、町との連絡調整、地区長間の意見交換を図った。<br>・地域の負担軽減をテーマに研究会を 4 回開催し、地区長マニュアルの作成や加入促進チラシのリニューアルを行った。 |
| R 7 課題 | ・町民活動を推進していくには、補助金交付終了後も状況確認やフォローアップの体制づくりが必要である。<br>・引き続き、地域の負担軽減策について地区長連絡協議会と連携し検討を行っていく。各地区により活動内容や状況が異なることから、地区に応じた対応策を模索していく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 在宅障がい者援護事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 在宅の身体・知的・精神障害者に各種の補助事業を展開することにより、自立更正の一助に努め、併せて障害者とその家族の経済的軽減を図る。 |
| R 7 実績 | ・在宅障害者への各種支援により、福祉の増進が図られた。<br>・一律給付型制度であった在宅障害者福祉手当を廃止した。 |
| R 7 課題 | ・障害当事者及び当事者団体とのコミュニケーションを通じて、住み慣れた地域で生活するため、支援制度の維持や支援サービス向上に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 生活支援体制整備事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 地域の課題を地域住民、地域組織、地域の事業所、社協、行政が協働して解決していくための体制を整備し、少子高齢、人口減少社会でも安心して暮らしていける地域づくりを促進する。 |
| R 7 実績 | ・お互いさま推進協議会等を通して、移動支援・買い物支援に係る課題や実践事例の共有を図った。 |
| R 7 課題 | ・各地区の課題や実践事例の共有などにより、支援体制が促進されるよう恒常的に情報把握などが必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 認知症総合支援事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 今後ますます増加が懸念される認知症疾患関係患者に対し、早期発見、早期対応できる体制を整えるとともに、認知症の理解を広め、認知症の方やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進める。 |
| R 7 実績 | ・認知症サポーター養成講座やにのにんカフェなどにより、認知症の正しい理解の普及と相談しやすい環境づくりに努めた。<br>・マスコットの作成配付による普及を行った。 |
| R 7 課題 | ・認知症の予防やご家族の相談の場、認知症の初期症状での適切な治療や重篤化予防のため、認知症の正しい知識の普及や相談しやすい環境の整備を恒常的に促進する必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 地域介護予防活動支援事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 地域の通いの場運営及び健康運動指導士派遣により、介護予防や日常生活支援の一助を行う。 |
| R 7 実績 | ・地域の通いの場運営補助金の交付及び通いの場への出前講座等の派遣により、介護予防や健康維持の促進を図った。 |
| R 7 課題 | ・他地区の活動状況の共有などによる地域の負担感の軽減など視野に入れ、地域の通いの場のさらなる促進支援を検討する必要がある。 |
| そ の 他 | |

# 施策５

【総合計画】

「活力があふれる、選ばれるまちづくり」

【総合戦略】

- ２-１「二宮らしい魅力の創出と発信」
- ４-１「地域商工業の活性化」
- ４-２「地域農林業の活性化」

| 事 業 名 | 特産物普及奨励事業（農業再生事業） |
|---|---|
| 事業概要 | 落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。 |
| R 7 実績 | ・オリーブの生産量が増加した。落花生の町内落花生加工業者への出荷量は 295 kgであり、前年度より 35 kg増加した。 |
| R 7 課題 | ・講習会による栽培技術指導により、生産量の拡大を図り、「湘南オリーブオイル」の地域団体商標を用いてのブランドイメージの向上に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 観光振興対策経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 観光協会に補助金を交付し、菜の花ウォッチングなどを実施することで誘客を図るほか、HP 等で町の魅力を発信する。また、湘南地区観光振興協議会で湘南への誘客イベントを実施する。 |
| R 7 実績 | ・観光協会の一般社団法人化を推進するとともに、観光協会や関係団体と連携して「ふるさとまつり」や「吾妻山菜の花ウォッチング」など、地域資源を活かした観光イベントを開催し、集客や地域活性化を図った。<br>・湘南地区観光振興協議会等の関係団体と連携し、町外に向けた誘客活動を実施した。 |
| R 7 課題 | ・観光協会との良好な連携関係を維持しながら、協力して観光事業を推進するとともに、事業の効率的かつ効果的な執行に向け、町と観光協会の役割分担や事業実施体制について見直しを検討する。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 商工業振興対策経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。 |
| R 7 実績 | ・商工会や商店連合協同組合等への支援をはじめ、二宮ブランド等の推進による地元事業者の活動基盤強化や地域経済の活性化を図るとともに、商工会・神奈川産業振興センターと連携して事業承継相談会の実施を進めた。 |
| R 7 課題 | ・起業・事業承継に関する情報を積極的に発信し、町内商工業の振興に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 農業振興事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。 |
| R 7 実績 | ・令和 6 年度までに全地区で策定した地域計画を適正に運用した。<br>・町制施行 90 周年記念冠事業の農林水産まつりを開催した。 |
| R 7 課題 | ・全国的に農業の担い手が不足しているため、県や JA による支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 遊休・荒廃農地対策事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 農業委員の業務として農地パトロールを実施し、遊休農地や違反転用などの実態があった場合には、所有者に指導等を行い農地の保全に努める。 |
| R 7 実績 | ・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。 |
| R 7 課題 | ・全国的に担い手が不足しているため、県や JA による支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 「にのみやＬｉｆｅ」移住・定住・交流ＰＲ事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 子育て家庭を中心とした幅広い世代の移住を促進するため、町民等と連携しながら、二宮町ならではの暮らし方「にのみや Life」を町内外に発信するとともに、実際に町外の方が町を訪れた際の相談体制の充実を図り、実際の移住に繋げていく。 |
| Ｒ７実績 | ・町単独の移住相談会開催のほか、神奈川県移住セミナーに参加するなど、移住促進に努めた。また、ホームページ、LINE、Facebook などを通じて周知を図った。 |
| Ｒ７課題 | ・情報発信内容を充実させる必要がある。また、町外への情報発信媒体・方法について検討し、効果的に情報発信をしていく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 公園等維持管理運営経費 |
|---|---|
| 事業概要 | 都市公園、児童遊園地等施設の維持管理を継続的に実施し、負担軽減に向けた公園の配置の見直しを行う。また、施設を整備し利用者の安全を図り適切な公園運営を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・公園利用者や地域住民が快適に利用できるよう、適正な維持管理に努めている。 |
| Ｒ７課題 | ・各公園の遊具等の施設の老朽化が顕著となっているため、計画的に整備していく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 有害鳥獣対策事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。 |
| Ｒ７実績 | ・町補助金による自主防除の支援を実施し、有害鳥獣対策協議会との連携より、大型有害鳥獣の捕獲や、広域柵の設置を行った。 |
| Ｒ７課題 | ・有効な捕獲方法の検討及び広域防護柵の設置個所の選定に努める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 中小企業金融対策事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。 |
| Ｒ７実績 | ・中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による支援を行うとともに、利子補助制度や信用保証料補助制度を実施し、事業活動の下支えを実施した。 |
| Ｒ７課題 | ・金利動向に注視し、融資期間・年利率等や支払時期等の見直しの必要性について検討する。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 文化振興事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 町民の文化・芸術活動を奨励し、活動を通じて町民相互の交流を深め、心豊かでうるおいのある生活ができるよう支援する。 |
| R 7 実績 | ・例年の事業運営を行い、昨年度同様中学生が制作したステンドグラスの展示を行った。<br>・ピアノマラソンコンサートは例年より申込数が多く、終了時間を超える見込みとなったため抽選を行った。 |
| R 7 課題 | ・会場であるラディアンが大規模改修により休館するため、事業の規模的に代替施設での実施が難しい場合がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 生涯学習センター管理運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 生涯学習センターのホールや貸室の提供などを行い、生涯学習振興と生涯学習支援を行う。 |
| R 7 実績 | ・大規模改修に向け実施設計を行うとともに、休館に向け代替施設の案内をラディアン窓口やホームページにおいて開始した。 |
| R 7 課題 | ・開館より 20 年以上が経過し、老朽化による不具合が出ていることから、大規模改修まで適切な維持管理を行う。<br>・大規模改修に伴う休館により、青少年の居場所が確保できなくなることから、代替え場所について検討を行う。。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 図書館運営事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 図書館の運営及び各種事業の展開を図る。図書、視聴覚資料の貸出や資料の紹介、おはなし会等の行事など、教養、調査、研究、レクリエーションに資する活動を行う。 |
| R 7 実績 | ・令和 6 年度から開催している「土曜日のちいちゃいおはなし会」や「相続・遺言講座」、「親子で学ぶおこづかい教室」など、図書館利用のきっかけづくりとなる事業を開催した。また、令和 7 年度は新たな試みとして、保健センターで開催している「でんでんむし」（子育て・健康課の事業）に職員が年 2 回出向き、乳幼児向け絵本の読み聞かせや図書館の利用案内を行った。<br>・町公式 LINE と Facebook を使った情報発信に積極的に取り組んだ。 |
| R 7 課題 | ・ラディアン大規模改修工事期間中のサービス体制の検討、リニューアル後の効果的・効率的な運営に向けた課題整理と体制検討を進める。 |
| そ の 他 | |

## 施策６

【総合計画】

「新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり」

【総合戦略】

・１-４「デジタル技術による行政サービスの向上」

| 事 業 名 | 行政改革推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・第６次二宮町行政改革推進計画に位置付ける KPI「取り組み事項 10　広域連携や産官学連携の推進」に設定している連携事業数について見直しを実施した。具体的には、これまで包括連携協定を締結した団体との事業に限定していたが、実状に即した数値とするため、全ての連携事業を対象とした。 |
| Ｒ７課題 | ・第６次二宮町行政改革推進計画に基づき事業を進める。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 産学連携 |
|---|---|
| 事業概要 | 企業や大学等の専門性や枠組みに囚われることのない柔軟な発想を生かした効果的・効率的なまちづくりを進める。 |
| Ｒ７実績 | ・神奈川大学での出前授業を実施した。令和７年度は防災をテーマに講義を実施し、学生からテーマに対する意見を聴取した。 |
| Ｒ７課題 | ・大学との連携を強化し、業務の効率化や町の課題に対して効果的な事業の検討を重ねる必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 施設再編推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 防災・災害対策拠点としての機能強化や多様化する行政需要に対応した新庁舎を整備。未耐震集会所の改修等、複合施設の検討、未利用地などの活用検討、公共施設の再配置・町有地活用実施計画の推進を行う。 |
| Ｒ７実績 | ・未耐震集会所の改修を行うなど、耐震化を推進した。公有資産活用に関するサウンディング型市場調査の結果や各種法令に基づいた協議などを経て、町民温水プール跡地を指定管理事業に活用する。 |
| Ｒ７課題 | ・前年度同様に、事業に対する合意形成や完成への形、調整などが多大にある。条例改正や他法令に基づいた申請許可などもあり、多種多様に課題が山積みな状況である。引き続き、事業を推進していく上で、課題を整理していく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 町民活動推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 町民活動推進委員会による町民活動推進補助金の交付審査を行うほか、町民活動促進のための情報発信を行う。 |
| R 7 実績 | ・スタート支援：1団体、ステップアップ支援：3団体　計4団体に補助金を交付した。 |
| R 7 課題 | ・町民活動を推進していくには、補助金交付終了後も状況確認やフォローアップの体制づくりが必要である。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 職員育成推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 人材育成基本方針に基づいた研修計画により、派遣研修を行い、職員の意識改革と能力向上を図る。また、健康管理研修や人事評価研修、働き方改革研修など、町独自の研修を行い、知識と理解を深め、効率的な行政運営を推進する。 |
| R 7 実績 | ・市町村研修センターの研修事業は通常とおり実施された。<br>・町独自研修についても予定通り実施することができた。また、併せて国県等への職員派遣も実施することができた。 |
| R 7 課題 | ・前年度に引き続き、職員に対し研修への参加を促進するほか、国県への職員派遣等についても継続して行う。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | デジタル推進事業 |
|---|---|
| 事業概要 | 住民の利便性向上や内部業務の効率化を目的としたデジタルトランスフォーメーションを推進する。<br>また、民間のデータセンターやパッケージソフトを共同利用することにより、システム費用の低減化及び業務の効率化を図る。 |
| R 7 実績 | ・コンビニ交付の利用割合は全体の 28%に達しており、計画値を上回るペースで増加している。<br>・行政手続きのオンライン化に関しては、対象者や手続き内容によって利用件数に差があるため、オンライン化を優先的に進める手続き調査を全庁的に実施した。 |
| R 7 課題 | ・コンビニ交付の利用割合が着実に増加していることを踏まえ、対象となる証明書の範囲拡大を検討する必要がある。<br>・手続きのオンライン化については、優先順位を明確にした具体的なオンライン化方針を作成し、その方針に基づいて段階的に拡大を進めていく。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 広報活動事業 |
| --- | --- |
| 事業概要 | 広報にのみやの発行、町ホームページの更新・維持管理、広報板管理を行う。 |
| R 7 実績 | ・令和 7 年 7 月号から広報紙のページを 12 ページに縮小し発行しているが、記事の精査を行うことで、縮小前と同様の情報発信ができた。<br>・ホームページのほか LINE や Facebook を通じた情報発信に努めた。 |
| R 7 課題 | ・広報紙のページ数を縮小したため、引き続き、情報を精査しながら掲載していく必要がある。<br>・ホームページのほか LINE や Facebook での情報発信を強化し、情報をつかみやすくしていく必要がある。 |
| そ の 他 | |

| 事 業 名 | 情報システム運用事業 |
| --- | --- |
| 事業概要 | 基幹系システム、内部情報系システム、庁内ネットワーク等の安定的な運用に必要な業務を行う。また、e-KANAGAWA 電子申請システムを活用した運用も引き続き行う。 |
| R 7 実績 | ・基幹系システムは予定通り標準化への移行が完了し、円滑に運用が行われている。 |
| R 7 課題 | ・各課で利用している庁内システムを総合的に把握し、機能の統合や整理を進めることで、費用削減を図る必要がある。 |
| そ の 他 | |